



仮想通貨



使用したミッションパーツ

高速通信機 + 標準型コンピュータ

今回の成果

売上： 115.2 億円

－ 製造コスト： 円

= 今回のサービスによる利益： 円

売上から製造コストを差し引いた結果はプラスになりましたか？

プラスになった場合、今回打ち上げた人工衛星を利用したサービスは、無事黒字となりました。手に入れた利益を活用することで、良いサービスをより広く長くつづけることができました。ミッションは成功です！

マイナスになった場合、今回打ち上げた人工衛星を利用したサービスは、残念ながら赤字となりました。サービスは間もなく終了してしまうでしょう。ミッションは失敗です。

今後の可能性

1

どうすればもっと利益を出すことができるのか、方法を考えてみよう。

2

宇宙空間での高速演算ができるコンピュータを使うと、どんなサービスを実現できるか考えよう！



仮想通貨



参考資料

ミッションパーツによって生まれる利益は、
以下の式によって求めることができます。

サービスの1年辺りに見込まれる想定売上：

12億

×コンピューターの運用寿命（年）

×コンピューターの性能から想定される利益倍率

×通信装置の性能から想定される利益倍率

= 発生する利益

性能表

	利益倍率	運用可能寿命
標準型コンピューター	1	6
高性能コンピューター	1.4	5
スーパーコンピューター	1.8	4
標準通信機	1	-
高速通信機	1.6	-